

美しい時代へ  
東急グループ

# Business Report

## 第141期 中間報告

(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)

- P1 TOP MESSAGE
- P2 東急グループの概況
- P3 事業概況
- P7 四半期連結財務諸表(要旨)
- P9 CSRへの取り組み
- P10 特集
- P13 会社概要・株主と株式の状況



東京急行電鉄株式会社

(証券コード:9005)



株主の皆さまには、平素から格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第141期上半期の業績ならびに現在の取り組みについてご報告申し上げます。

### 第141期上半期の業績および配当について

当上半期における、連結の営業収益は6,196億8千8百万円、営業利益は227億5千3百万円、経常利益は201億5千6百万円、四半期純利益は76億4千2百万円となりました。また、当上半期における当社個別の営業収益は1,380億6千3百万円、営業利益は215億8千8百万円、経常利益は167億9千2百万円、四半期純利益は84億6千8百万円となりました。

株主の皆さまへの配当につきましては、成長のための投資と株主還元、株式価値の向上策のバランスを考慮した経営を進めることが重要な課題であるという考えのもと、現行の経営計画期間中は連結自己資本配当率2%を目処におき、安定的な配当を実施することを基本方針としております。当期の中間配当につきましては、上記の方針に基づき、去る11月

10日開催の取締役会において、1株につき3円と決定させていただきました。

### 安全の確保に全社一丸となって取り組んでおります

当社(連結子会社を含む)は「安全・安心」をすべての事業の根幹と位置づけております。なかでも、公共輸送機関としての使命を担う当社におきましては、経営トップから現場までが一体となった安全管理体制を構築し、全社をあげて安全性の向上に取り組んでおります。「安全の確保」は不変の経営課題であり、今後も皆さまに安心してご利用いただけますよう努力を続けてまいります。

### 持続的成長の実現に向けて

米国の金融危機に端を発した昨年秋以降の急速な景気後退により、当社(連結子会社を含む)は厳しい事業環境におかれており、その緊急対策として、現在、経費削減や、投資計画の峻別に取り組んでおります。なかでも、消費マインド減退の影響を直接受けているリテール事業、レジャー・サービス事業、ホテル事業等におきましては、不採算、低採算施設の見直しなどの構造改革を進めております。

## 東急グループの概況

しばらくは、厳しい状況が続くものと想定されますが、その環境下にあっても、基本戦略としている「人口の質的・量的変化を先取りした事業展開」に変わりはありません。引き続き、将来を見据えた重点取り組み課題を着実に推進してまいります。

今後も事業にとって重要なステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションをより一層緊密にするとともに、経営の透明性、業務の適正性を高め、企業の社会的責任を全うしてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年12月







取締役社長

越村 敏昭

東京急行電鉄(株)

子会社173社 関連会社19社

### 当社および主要子会社(事業区分別)

 <b>交通事業</b> (26社)	鉄道業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東京急行電鉄(株)</li> <li>●伊豆急行(株)</li> <li>●上田電鉄(株)</li> </ul>
	バス業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東急バス(株)</li> <li>●(株)じょうてつ</li> </ul>
 <b>不動産事業</b> (21社)	不動産販売業	●東京急行電鉄(株)
	不動産賃貸業	●東京急行電鉄(株)
	不動産管理業	●東急ファンリティーサービ(株)
 <b>リテール事業</b> (25社)	百貨店業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●(株)東急百貨店</li> <li>●(株)ながの東急百貨店</li> </ul>
	チェーンストア業	●(株)東急ストア
	ショッピングセンター業	●(株)東急モルズデベロップメント
	クレジットカード業	●東急カード(株)
 <b>レジャー・サービス事業</b> (35社)	ゴルフ業	●(株)スリーハンドレッドクラブ
	広告業	●(株)東急エージェンシー
	有線テレビジョン放送業	●イツ・コミュニケーションズ(株)
	学童保育事業	●(株)キッズベースキャンプ
 <b>ホテル事業</b> (51社)	ホテル業	●(株)東急ホテルズ
 <b>その他事業</b> (30社)	鉄道車両関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東急車輛製造(株)</li> <li>●東急テクノシステム(株)</li> </ul>
	商社業	●東急ジオックス(株)

(注) 上記事業区分の会社数には、一部の会社が重複して含まれています。

### 主要関連会社

- ◆東急不動産(株)
- ◆(株)東急レクリエーション
- ◆シロキ工業(株)
- ◆(株)東急コミュニティー
- ◆東急建設(株)
- ◆ゴールドパック(株)
- ◆東急リパブル(株)
- ◆世紀東急工業(株)

## 交通事業

当社は、安全で、利便性、快適性の高い鉄道を目指し、さまざまな取り組みを進めております。

特に、「安全の確保」は最大かつ最重要のお客さまに対する責務であると認識し、安全管理の体制や方法を定めた「安全管理規程」をもとに、経営トップから事業第一線の従業員まで一体となって、安全マネジメント体制の強化に努めております。「安全の確保」には常に全力を尽くしておりますが、不測の事態が発生した場合には、事故や障害の原因を分析し、再発防止への取り組みを進めております。当上半期は、大井町線の延伸区間へ ATC（自動列車制御装置）を導入したほか、学芸大学駅付近高架橋、渋谷～用賀間のトンネルなどで耐震補強工事を進めております。

本年7月11日、大井町線を溝の口駅まで延伸し、大井町～溝の口間で急行運転を開始いたしました。これは、田園都市線沿線から都心へ向かうルートを選択肢を増やすことによる利便性向上と田園都市線の混雑緩和を目的として、平成5年から16年間にわたり進めてきた「大井町線改良・田園都市線複々線化工事」の進捗によるものです。

平成24年度に開始を予定している東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転につきましては、渋谷～代官山間の地下化工事と主要駅のホーム延伸工事などを進めております。この相互直通運転により、横浜～渋谷～新宿～池袋が一本の路線でつながり、鉄道ネットワークがさらに充実します。また、相互直通運転開始と同時に、東横線では、特急・通勤特急・急行列車の10両編成運転を開始する予定です。当社の当上半期における鉄軌道の輸送人員は、前年同期と比べ0.2%増加して5億4千2百万人となりました。

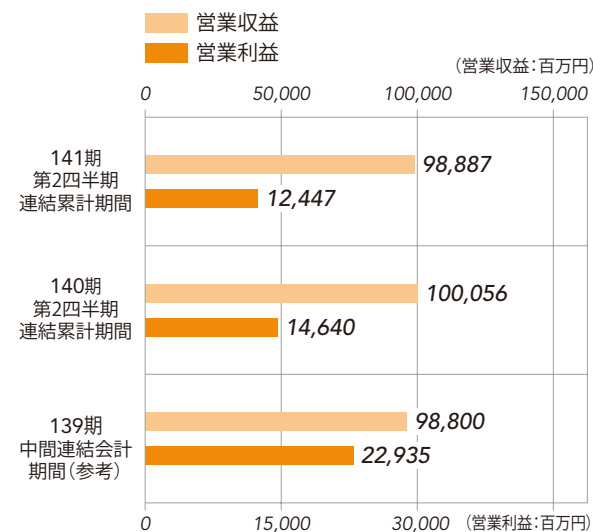
東急バス(株)では、お客さまの利便性向上を目指し、本年8月より、東急バス全線 IC 定期券・IC 一日乗車券サービスを開始いたしました。しかしながら、景気低迷などによる影響のほか、空港直行バスについては新型インフルエンザによる影響もあり、当上半期の輸送人員は、前年同期と比べ3.2%減少して7千6百万人となりました。



溝の口駅まで延伸した大井町線



線路保守



# 不動産事業

当社は、「街づくり」を事業活動の中心におき、長年にわたりさまざまな領域での不動産事業を展開しております。安定的かつ継続的な収益の確保とさらなる沿線価値の向上を目指し、大規模拠点開発プロジェクトなど、不動産賃貸事業の拡充による「不動産事業の構造転換」を進めております。この方針のもと、大規模拠点開発プロジェクトにつきましては、次のとおり推進いたしました。

## 渋谷駅周辺開発計画

(渋谷新文化街区プロジェクト 平成24年春開業予定)

本年7月、東急文化会館跡地周辺地区の共同開発事業「渋谷新文化街区プロジェクト」において、新築工事に着手いたしました。

## たまプラーザ駅周辺開発計画

(たまプラーザ テラス 平成22年秋全体開業予定)

本年10月22日、たまプラーザ駅をリニューアルし、71店舗が集まる「たまプラーザ テラス ゲートプラザ(2期)」を開業いたしました。

## 二子玉川東地区第一種市街地再開発事業

(第1期事業 平成23年開業予定)

本年10月よりⅢ街区において「二子玉川ライズタワー & レジデンス」の最後の分譲棟となる「タワーセントラル」の販売を開始いたしました。

## 永田町二丁目計画 (平成22年秋開業予定)

(株)東急ホテルズのフラッグシップホテルとなる「ザ・キャピトルホテル 東急」とオフィスなどからなる高層複合ビルの建設を順調に進めております。

不動産販売事業については、東急線沿線を中心にマンションおよび建売住宅の販売を実施したほか、本年5月、たまプラーザに当社土地分譲における情報発信窓口として「トチカラサロン」をオープンし、多摩田園都市を中心とした土地販売を実施しております。

また、「人口の質的・量的変化を先取りした事業展開」を図るという基本戦略に基づき「サービス付シニア住宅」事業、「STYLIO(スタイリオ)」ブランドによる賃貸住宅事業を推進したほか、新しい取り組みとして本年9月、武蔵小杉駅構内に「東急電鉄 住まいと暮らしのコンシェルジュ」をオープンいたしました。

## 東急電鉄 住まいと暮らしのコンシェルジュ

本年9月、住宅と生活に関する総合的な新しい相談サービス「東急電鉄 住まいと暮らしのコンシェルジュ」を武蔵小杉駅構内にオープンいたしました。

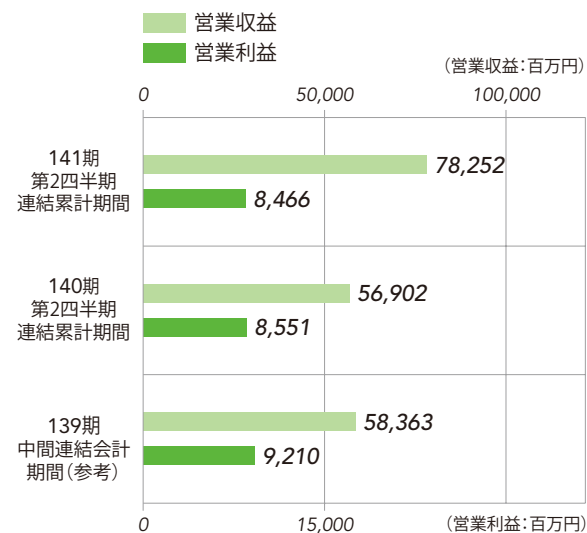
住まいに関するお客さまの夢の実現と悩みの解決をサポートするというコンセプトのもと、建築士などの資格を持つコンシェルジュがさまざまな相談に無料でお応えします。

所在地：東横線・目黒線武蔵小杉駅北口

営業時間：10:00～21:00(月～土)

10:00～19:00(日・祝日)※年末年始を除く

TEL : 044-733-2032







## リテール事業

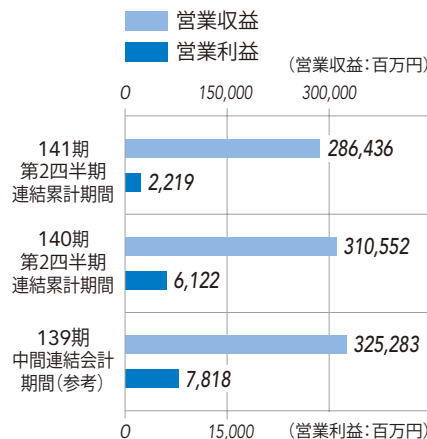
当社は、リテール事業を街の生活基盤として沿線価値の向上に資するものと位置づけるとともに、鉄道事業、不動産事業との連携による収益力の強化を進めております。

(株)東急百貨店では、(株)伊勢丹との業務提携を最大限に活用し、各店舗の商品・販売政策を本社が効率的に推進する体制の整備を進め、収益力の向上に取り組んでまいりました。当上半期は、本年8月に札幌店の化粧品売場を大幅に増床し、外資系ブランドの導入など充実を図りました。

(株)東急ストアでは、利益構造の改善を進めており、青山店など不採算店舗を一部閉鎖したほか、本年10月30日には、当社とともに(株)札幌東急ストアの全株式を(株)アークスに譲渡いたしました。この株式譲渡を機に、同社は首都圏への経営資源の集中を一層進めてまいります。また、本年10月、更なる利便性とサービスの向上を目指し、「東急ストアネットスーパー」の名称で、ネットスーパーサービスの提供を開始いたしました。



本店婦人服売場(株)東急百貨店



## レジャー・サービス事業

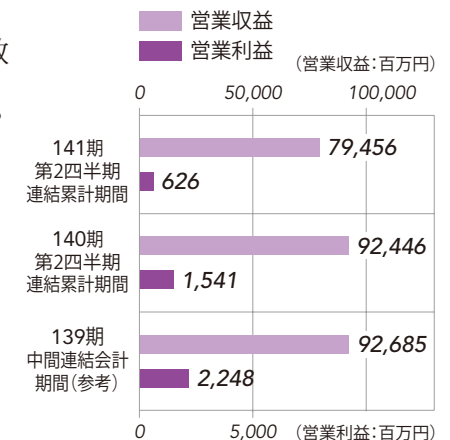
学童保育事業を展開する(株)キッズベースキャンプでは、本年4月、下丸子、溝の口など東急線沿線に5店舗を新規出店いたしました。当上半期末の店舗数は14店舗となり、平成22年度には新たに日吉、たまプラーザへ出店する予定です。

(株)東急エージェンシーでは、業務の効率化や組織間の連携強化、重点事業に対する経営資源の集中などを進めるとともに、広告主への提案力の向上に努めました。このほか、当社と共同して、交通広告媒体と屋外広告媒体を統合した広告媒体ブランド「TOKYU OOH」の展開を進めました。

イツ・コミュニケーションズ(株)は、顧客接点の強化を目指した取り組みを進めており、本年4月、駅の中にある情報発信の拠点として「iTSCOMスポット 武蔵小杉」をオープンしました。また、(株)横浜都市みらいと締結したケーブルテレビ事業に関する業務提携契約に基づき、平成22年4月より、当社がサービスエリアを拡大して新たにサービス提供を開始いたします。なお、同社の当上半期末の総接続世帯数は、63万8千世帯となっております。



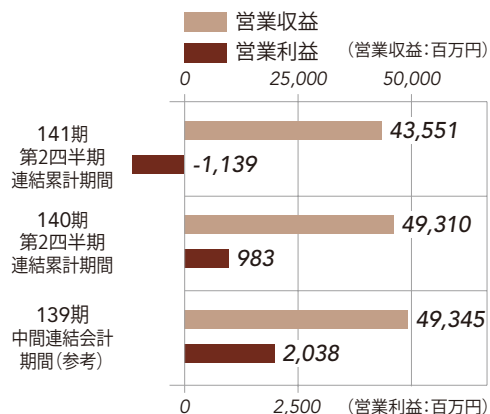
学童保育サービス(株)キッズベースキャンプ



# ホテル事業

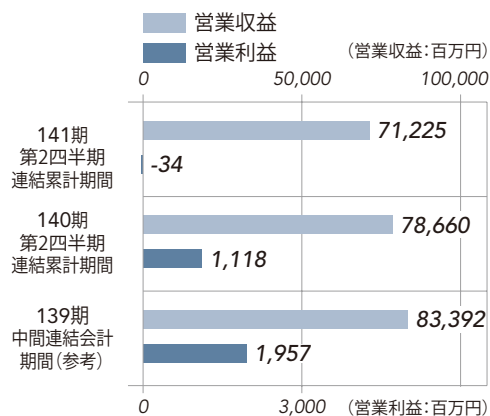
(株)東急ホテルズでは、市場の変化にスピーディーに対応する競争力ある事業体制の構築のため、収支構造の改革を進めるとともに、戦略出店モデルの開発を進めております。当上半期は、宿泊主体型ビジネスホテルの新ブランド「ホテル東急ビズフォート」について、那覇、神戸元町、博多の3店舗を開業いたしました。

また、同社のフラッグシップホテルとなる「ザ・キャピトルホテル 東急」については、平成22年秋の開業に向けた準備を進めております。



# その他事業

東急車輛製造(株)では、JR、民鉄向けの鉄道車両や、トレーラーなど各種特装自動車の設計・製造を行っております。このほか、立体駐車装置の製造・販売・メンテナンスを行っております。当上半期は、鉄道車両事業において、JR向け特急車両および当社向け車両などを納入いたしました。



## 宿泊主体型ビジネスホテル 「ホテル東急ビズフォート」誕生

自分らしく過ごすことのできる、居心地のいい空間へ

(株)東急ホテルズの新ブランド「ホテル東急ビズフォート」は、ハイグレードビジネスホテルとして、客室・パブリックスペース・フロントサービスのすべてにクオリティを追求しております。現在、那覇、神戸元町、博多の3店舗を展開しております。



### 客室

質の高い睡眠をお約束するオリジナルベッド、1日の疲れを癒す多機能シャワーで、明日へのエネルギーをリチャージ。



### パブリックスペース & ラウンジ

朝食は、焼きたてパンと挽きたてコーヒー、栄養バランスのよい具たくさんスープで1日の始まりをおいしくサポート。



### フロント & ロビー

心地よいアロマの香りがお客さまをお出迎え。セルフ端末機により、スピーディーなチェックイン&アウト。



<http://www.hoteltokyubizfort.co.jp/>

東急ホテルズ予約センター

0120-21-5489 (月～土 9:00～18:00 / 日・祝日定休)

## 四半期連結財務諸表 (要旨)

### 連結経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間の**営業収益A**は、不動産事業が増収となるものの、個人消費の低迷等に伴うリテール事業、ホテル事業などの減収により、6,196億8千8百万円(前年同期比3.7%減)となり、**営業利益B**は227億5千3百万円(同30.7%減)、**経常利益C**は201億5千6百万円(同31.2%減)、**四半期純利益D**は76億4千2百万円(同34.1%減)となりました。

### 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、単位未満切捨)

科目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
営業収益 <b>A</b>	619,688	643,193
営業費	596,935	610,371
営業利益 <b>B</b>	22,753	32,822
営業外収益	7,547	6,532
営業外費用	10,144	10,044
経常利益 <b>C</b>	20,156	29,310
特別利益	3,657	6,139
特別損失	4,331	10,925
税金等調整前四半期純利益	19,481	24,525
法人税等	11,440	12,049
少数株主利益	399	877
四半期純利益 <b>D</b>	7,642	11,597

### 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、単位未満切捨)

科目	当第2四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末
	平成21年 9月30日現在	平成21年 3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	318,688	353,111
固定資産	1,674,008	1,657,635
資産合計 <b>E</b>	1,992,696	2,010,746
<b>負債及び純資産の部</b>		
流動負債	626,284	654,667
固定負債	959,892	950,041
特別法上の準備金	21,721	21,383
負債合計 <b>F</b>	1,607,899	1,626,092
株主資本	367,281	365,750
資本金	121,724	121,724
資本剰余金	140,834	140,842
利益剰余金	109,190	105,222
自己株式	△4,468	△2,039
評価・換算差額等	4,172	5,454
少数株主持分	13,342	13,450
純資産合計 <b>G</b>	384,797	384,654
負債純資産合計	1,992,696	2,010,746



## 総資産、負債および純資産の状況

▶ 当第2四半期連結会計期間末における**総資産E**は、主に当社の設備投資により有形固定資産が増加となったものの、受取手形および売掛金や分譲土地建物が減少したことなどにより、前期末から180億5千万円減少の1兆9,926億9千6百万円となりました。

▶ **負債F**につきましては、有利子負債(借入金、社債、コマーシャル・ペーパーの合計)が前期末から103億1千8百万円増加の1兆827億9千4百万円となりましたが、仕入債務の支払いによる減少などがあったことにより、負債合計では前期末から181億9千2百万円減少の1兆6,078億9千9百万円となりました。

▶ **純資産G**につきましては、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」を導入し、当社株式を取得したことによる自己株式の増加がありました。四半期純利益を計上したことなどにより、前期末から1億4千2百万円増加の3,847億9千7百万円となりました。

本レポートは四半期決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後に公表される可能性がある訂正情報や業績予想の修正情報のほか、決算の詳細につきましては、金融庁EDINETや当社ホームページの掲載資料にてご確認ください。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、単位未満切捨)

科目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,827	41,882
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,828	△80,897
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,802	39,319
現金及び現金同等物に係る換算差額	157	△209
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△2,040	95
現金及び現金同等物の期首残高	41,988	37,234
現金及び現金同等物の四半期末残高	39,947	37,330

### 当社IRサイト「株主・投資家の皆さまへ」のご案内

個人投資家の皆さまに役立つ情報を「株主・投資家の皆さまへ」として紹介しています。財務諸表の詳細は、当社IRサイト<http://www.ir.tokyu.co.jp/>にアクセスしていただき、財務情報のページから決算短信をご覧ください。

東急ストア  
ママ大学



これまでの主な開催テーマ

- ・ワインの楽しみ
- ・食と健康のライフスタイル
- ・親子で作るパーティ料理
- ・人生を楽しむ方程式

(株)東急ストアでは、地域の皆さまの日常生活をさらに楽しく、豊かにするお手伝いをしていくことを目的に、昭和50年より「ママ大学」講座を開催しています。「料理」「教育」「健康」「文化」「暮らし」「生きがい」など生活に密着したテーマのもと、各分野での第一人者を講師に招き、毎回約200名の方を無料でご招待しております。本年度で35年目を迎え、9月には400回記念講演を開催いたしました。

今後もさまざまなテーマで開催してまいります。



お問い合わせ

(株)東急ストア 営業企画室

TEL. 03-3714-2461 (月～金 10:30～17:30)

特集  
1

# 10月22日 たまプラーザ テラス ゲートプラザ (2期)がオープンしました



たまプラーザ駅周辺開発計画(たまプラーザ テラス)は、当社が中心となって半世紀以上にわたり街づくりを行ってきた「東急多摩田園都市」の集大成として、また当社の3つのコア事業である「交通事業」、「不動産事業」、「リテール関連事業」の連携によって、街の活性化と沿線価値のさらなる向上を目指し進めてきたものです。

線路上空に設けた人工地盤を中心に、新しい低層の商業施設や駅前広場、駐車場など、駅周辺の都市機能をより充実させることで、さらに魅力的で暮らしやすい街を目指します。10月22日の「ゲートプラザ(2期)」オープンに続き、平成22年秋の全体開業により、たまプラーザ駅前に田園都市線沿線でも有数のショッピングモールが誕生します。

たまプラーザはさらに素敵な街へ。



たまプラーザ駅南口交通広場



ゲートプラザ館内



人口の質的・量的変化を先取りした事業展開

# サービス付シニア住宅事業

## 「東急ウェリナ大岡山」平成22年秋開業

平成22年秋、「東急ウェリナ大岡山」(東京都大田区)がサービス付シニア住宅事業の第1号物件として、目黒線・大井町線大岡山駅の目の前に開業する予定です。その特長は、大岡山の駅前という好立地。生活拠点として利便性が高いうえに、渋谷、銀座、横浜などにも出かけやすく、お買い物や散策など行動範囲が広がります。また、約3,000坪の敷地とその周辺には緑ゆたかな美しい自然環境が整い、邸宅地としての快適さと品格を備えています。お元気なときも、介護を必要とされるときも、さまざまな状況に対応したサービス体制とそのサービスが受けられるスペースやお部屋を提供いたします。

サービス付シニア住宅事業は、当社100%子会社の東急ウェル



ネス(株)が事業主体となり、東急線沿線のシニア層の方々に、豊かで安心、安全に暮らせる住まい・生活空間の提供を目指して積極的な展開を計画しております。

外観全景(イメージ)



水と緑に囲まれた、  
快適と安心がよりそう全一六五戸の邸宅です。

### Welina(ウェリナ)とは

ハワイ語で「愛をこめて」という意味です。  
ご入居者の皆さまに敬意をもって接するシニア  
レジデンスでありたい、という願いから  
「ウェリナ」と名づけました。



スカイラウンジ(イメージ)



ダイニング(イメージ)



リビング(イメージ)

## 物件概要

名称	東急ウェリナ大岡山
所在地	東京都大田区北千束1丁目45番6号
施設の種類	介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護指定申請中)
敷地面積	9,774㎡(2,956坪)
戸数	165戸(一般居室111戸・介護居室54戸)
構造・規模	鉄筋コンクリート造・地上8階 地下1階建
土地建物所有	東京急行電鉄株式会社

## 東急ウェリナお客さまサロン開設のお知らせ

東急ウェルネス(株)は、「東急ウェリナ大岡山」のご案内窓口として、「東急ウェリナお客さまサロン」を自由が丘(東京都目黒区)に開設いたしました。お客さまサロンでは本物件の模型・設備の展示や個別相談スペースでのご案内など、物件に関する情報をご提供しておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

なお、ご入居に関する個別のご相談につきましては、ご予約のうえ、お越しくださいませようお願いいたします。

今回の配当金関係書類等のご送付にあたり、「東急ウェリナ大岡山」に関する資料請求ハガキを同封しております。ご希望の方はぜひご利用ください。



東京都目黒区自由が丘1丁目26番4号 ステラ自由が丘4階  
(東横線・大井町線 自由が丘駅正面口より徒歩2分)

 **0120-51-7201**

営業時間:10:00~17:30

定休日:毎週水曜日

公式サイト:<http://www.tokyu-welina.jp/>



## 会社概要

商号(英文名) 東京急行電鉄株式会社  
(TOKYU CORPORATION)  
設立年月日 大正11年(1922年)9月2日  
本店所在地 東京都渋谷区南平台町5番6号  
事業内容 鉄軌道事業・不動産事業

## 役員一覧

※取締役会長	上 條 清 文
※取締役社長	越 村 敏 昭
※取締役副社長	八 方 隆 邦
※取締役副社長	鈴 木 克 久
※取締役副社長	安 達 功
専務取締役	野 本 弘 文
専務取締役	杉 田 芳 樹
常務取締役	桑 原 常 泰
常務取締役	木 下 雄 治
常務取締役	高 橋 遠
常務取締役	今 村 俊 夫
取締役相談役	清 水 仁
取締役	巴 政 雄
取締役	大 畠 俊 昭
取締役	泉 康 幸
取締役	根 津 嘉 澄
取締役	小 長 啓 一
取締役	植 木 正 威
取締役	中 原 徹 郎
常勤監査役	岩 田 哲 夫
常勤監査役	垣 本 謙 一 郎
監査役	河 野 俊 二
監査役	岡 本 瓘 衛
監査役	斎 藤 勝 利

※は代表権を有する取締役です

## 株主と株式の状況

### 資本金

121,724,981,774円

### 発行可能株式総数

18億株

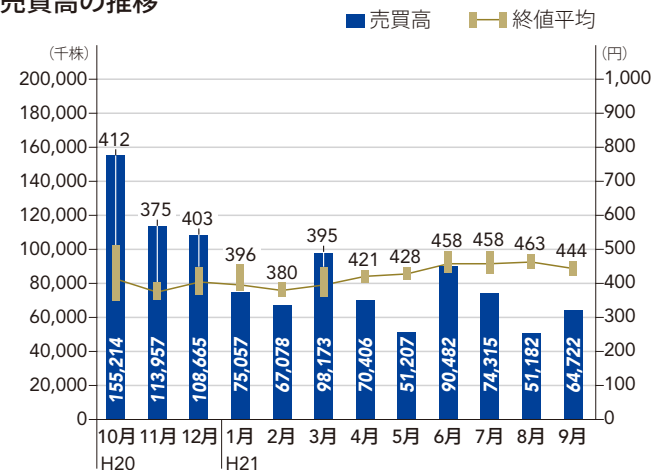
### 発行済株式総数

1,263,525,752株

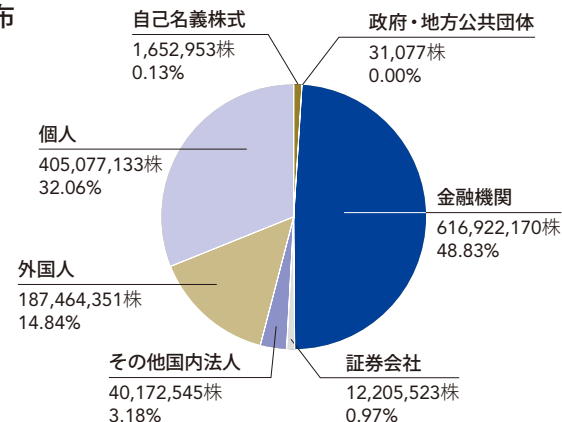
### 株主数

100,933名

## 株価と株式売買高の推移



## 所有者別株式分布



## 大株主上位10名

順位	株主名	所有株数	持株比率
1	第一生命保険相互会社	77,475,535	6.13%
2	日本生命保険相互会社	73,856,001	5.85%
3	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	55,742,000	4.41%
4	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	52,620,000	4.16%
5	中央三井信託銀行株式会社	38,357,554	3.04%
6	太陽生命保険株式会社	24,476,118	1.94%
7	株式会社三菱東京UFJ銀行	22,712,955	1.80%
8	三菱UFJ信託銀行株式会社	21,188,164	1.68%
9	株式会社みずほコーポレート銀行	20,236,478	1.60%
10	住友信託銀行株式会社	19,806,000	1.57%

※自己名義株式を含む発行済株式総数(1,263,525,752株)に対する割合を表示しております。

# 株主メモ

## 事業年度

4月1日から翌年の3月31日まで

## 期末配当金支払基準日

3月31日

## 中間配当金支払基準日

9月30日

## 株主名簿管理人

中央三井信託銀行株式会社

## 郵便物送付先(電話照会先)

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

中央三井信託銀行株式会社証券代行部

電話 **0120-78-2031**

(フリーダイヤル)

[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

## 公告(電子公告)

<http://www.tokyu.co.jp/koukoku/index.htm>

## 各種手続きのお申し出先

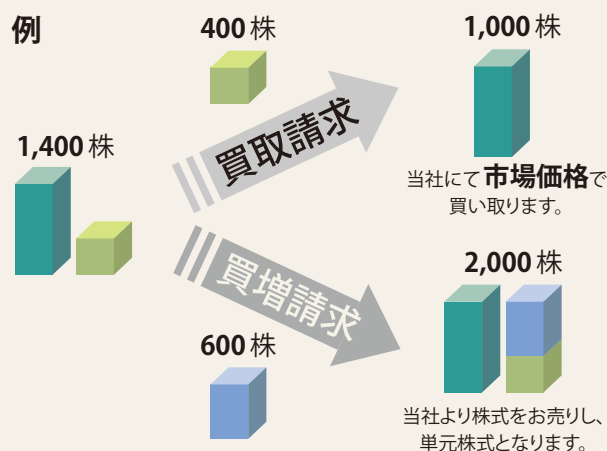
1.	未払配当金の支払請求 中央三井信託銀行(株主名簿管理人)
2.	住所変更、相続、配当金受け取り方法の指定等のご請求、 単元未満株式の買取請求・買増請求 お取引証券会社等 ※なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設 されました株主さまは、中央三井信託銀行(特別口座管理 機関)にお申し出ください。
3.	特別口座からの口座振替 中央三井信託銀行(特別口座管理機関)

## 単元未満株式(1株～999株の株式)の買取請求・買増請求をご検討ください

### ● 単元未満株式の「買取請求」・「買増請求」とは

ご所有の株式のうち単元未満株式(1株～999株)については、証券市場での取引ができないなど、現行制度上そのお取扱いに制約が多いのが現状です。そこで当社では、当社が単元未満株式を買い取らせていただく(買取請求)、または株主さまがご所有の株式を1単元(1,000株)となるよう買い増せる(買増請求)制度を導入しております。

### ● 買取請求・買増請求制度(1,400株ご所有の場合)



### ● 買取請求・買増請求手数料について

当社では、単元未満株式の買取請求・買増請求手数料をいただきません(無料)。

※当社の収受する買取請求・買増請求手数料が対象となります。証券会社等を通じてお手続きをされる場合、別途取次手数料を徴収される場合があります。詳細は事前にお取引証券会社等にご確認ください。  
※商品券贈呈キャンペーンは、本年12月30日受理分をもって終了いたします。詳細は右記お問い合わせ先までおたずねください。

### お手続きについて

#### 証券会社等の口座以外で 単元未満株式をご所有の方

(特別口座でご所有の方)



同封の「単元未満株式買取請求書兼取次請求書」にご記入のうえご返送いただくことで、買取請求のお手続きができます。なお、買増請求をご希望の場合は、お手数ですが、下記の特別口座管理機関(中央三井信託銀行)にお問い合わせください。

#### 証券会社等の口座で 単元未満株式をご所有の方



お取引証券会社等までお問い合わせください。  
※申し訳ございませんが、同封の「単元未満株式買取請求書兼取次請求書」でのお手続きはできません。

### お問い合わせ先

電話 **0120-78-2031** (フリーダイヤル)  
(受付時間: 平日9:00～17:00)

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

・このご案内は、単元未満株式の買取請求・買増請求をお勧めするものではなく、お手続きにあたりましては、あくまで株主さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

## 東急グループお客さまご案内窓口

### 東急お客さまセンター

当社では、当社および東急グループに関するお客さまからのお問い合わせやご意見、ご要望をお受けするため、専用の窓口「東急お客さまセンター」を設けております。お客さまから承った声は、経営者をはじめ全社で共有し、当社および東急グループ各社の施設やサービスの改善、業務の見直しに役立てております。

## 営業時間

月～金 8:00～20:00  
土日祝 9:30～17:30 ※年末年始等を除きます

## 住所

〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5番6号  
東京急行電鉄株式会社 東急お客さまセンター  
TEL 03-3477-0109 FAX 03-3477-6109

URL <http://www.tokyu.co.jp/>

## 株主優待のご案内

株主の皆さまには、ご所有株式数に応じ充実した優待をお受けいただけます。

### 3,000株以上

ご所有の株主さまへのご優待 (半期ごと)

ご所有株式数	株主優待乗車証発行枚数	
3,000株以上 5,000株未満	電車全線きっぷ (注1) 10枚	+ 3年以上継続して3,000株以上 電車全線きっぷ 5枚追加
5,000株以上 10,000株未満	電車全線きっぷ 20枚	
10,000株以上 19,000株未満	電車全線きっぷ 40枚	+ 3年以上継続して10,000株以上 電車全線きっぷ 10枚追加
19,000株以上 24,000株未満	電車全線きっぷ 80枚	
24,000株以上 28,000株未満	電車全線バス 1枚 + 電車全線きっぷ 10枚	
28,000株以上 57,000株未満	電車全線バス 1枚 + 電車全線きっぷ 30枚	
57,000株以上	電車・東急バス全線バス (注2) 1枚 + 電車全線きっぷ 30枚	

(注1) 電車全線きっぷは、1枚につき、東急線片道1乗車に限りご利用いただけます。

(注2) 東急バスについては、深夜急行バス、空港直行バスなど一部ご利用いただけない路線がございます。

#### (継続保有の条件について)

- ・当社の株主名簿に、同一株主番号で、当該基準日を含む直近7回の基準日(3月31日、9月30日)に継続して記載された株主さまに対し、その7回の基準日に保有していた最少株式数に応じて追加発行いたします。
- ・相続、株主名簿からの除籍等により株主番号が変更になった場合は、その直後の基準日から起算いたします。
- ・株式交換等により当社株主となった場合は、その直後の基準日から起算いたします。株式交換等以前の時期との通算はいたしません(例：以前株主東急ストアの株

式を保有し、平成20年7月1日の株式交換により当社の株主となった場合は、株式交換の効力発生日以降の最初の基準日である平成20年9月30日から起算いたします。

・株主名簿への記載が同一の方であり、何らかの事情により株主番号が変更になっている場合には、その確認がとれる場合に限り、前後を同一株主番号である方として取り扱います。

・その他の事項は、当社の定める基準によります。

発行 東京急行電鉄株式会社  
お問い合わせ 社長室 CSR推進部 文書株式担当  
〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5番6号  
TEL (03) 3477-6228



この報告書は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認定されました。



### 1,000株以上

ご所有の株主さまへのご優待 (半期ごと)

- 東急百貨店 (注3)  
お買い物 10%割引券10枚
- 東急ストア (注4)  
お買い物 50円割引券40枚
- 東急ホテルズ  
客室料金 30%割引券8枚
- Bunkamuraザ・ミュージアム  
ご招待券2枚
- 五島美術館  
ご招待券2枚

(注3) 現金による合計金額3,000円(税抜)以上の同一売場でのお買い物1回につき、その金額の10%(100円未満四捨五入)を割引いたします(ただし、食料品、セール品、その他除外品がございます)。なお、割引券1枚につき50,000円(税抜)までのお買い物にご利用いただけます。

(注4) ・1回のお買上合計金額1,000円(税込)以上のお買い物につき、1,000円ごとに各1枚(50円)をご利用いただけます(ただし、タバコ、商品券、その他除外品がございます)。

・旧(株)札幌東急ストアの営業各店ではご利用いただけませんので、ご注意ください。

各優待券の発行時期 および有効期間	株主優待乗車証		優待券・招待券	
	発行時期	有効期間	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主さま	5月	6月1日～11月30日	6月	12月31日まで
9月30日現在の株主さま	11月	12月1日～5月31日	12月	6月30日まで

※株主優待をお受けいただくには、株主名簿にお名前の記載が必要となります。